

《担当者名》講師 / 中山 章

【概要】

医療における倫理の重要性について学び、生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

【学修目標】

医療に関わる倫理的問題について説明できる。
 医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。
 医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。
 医療の担い手としてのこころ構えを身につける。
 医療の担い手としてふさわしい態度を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス 倫理と法 教科書：p2～18, p65～68	授業概要の説明 薬学における倫理と法の係わりについて概説できる。	中山 章
2	患者安全 教科書：p104～123	医薬品に関わる代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙し、その原因と防止策を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -4	中山 章
3	患者安全 教科書：p104～123	医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。(態度) 代表的なインシデント(ヒヤリハット)、アクシデント事例を解析し、その原因、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。(知識・態度) 人と社会に関わる薬剤師について討議する。(態度) 【SGD・PBL】 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(1)-1～5、F-(1)- -1、F-(2)- -3	中山 章
4 5 6	生命倫理 教科書：p170～180	生命倫理の諸原則(自律尊重、無危害、善行、正義等)について説明できる。 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(2)- -2,4	中山 章
7 8	生命倫理 教科書：p181～197 事前に資料を配付する。	生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。 生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べることができる。 生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べることができる。 一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。(知識・態度) 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。(知識・態度) 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識できる。	中山 章

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		【SGD・PBL】 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -5~7、A-(2)- -1,3、A-(2)- -1	
9 ） 11	医療倫理 教科書：p198～232	医療倫理に関する規範（ジュネーブ宣言等）について概説できる。 薬剤師が遵守すべき倫理規範（薬剤師綱領、薬剤師倫理規定等）について説明できる。 医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。 患者の基本的権利の内容（リスボン宣言等）について説明できる。 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(2)- -1～3、A-(2)- -2～3	中山 章
12	研究倫理 教科書：p233～251	臨床研究における倫理規範（ヘルシンキ宣言等）について説明できる。 「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(2)- -1～2	中山 章
13 ） 14	コミュニケーション 教科書：p254～303	意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。 言語的及び非言語的コミュニケーションについて説明できる。 相手の立場、文化、習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて説明できる。 対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1～4	中山 章
15	患者・生活者と薬剤師 教科書：p304～314	患者や家族、周囲の人々の心身に影響を及ぼす病気やケアの影響について説明できる。 講義全体をまとめ、薬学・薬剤師にかかわる倫理的問題について説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(3)- -1	中山 章

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験（80％）、授業態度（レポート、演習態度を含む）（20％）により評価する。

レポートは返却しないが、次回以降の講義で解説するので、復習して活用すること。

なお、レポート、演習態度の評価では、ルーブリック表を用いる。

【教科書】

スタンダード薬学シリーズ 1 薬学総論 . 薬剤師としての基本事項 日本薬学会編 東京化学同人

【参考書】

スタンダード薬学シリーズ 1 薬学総論 . 薬学と社会 日本薬学会編 東京化学同人

【学修の準備】

・1～2、4～6、9～15回目の授業では、予習として講義範囲について教科書を読み、該当するSB0のweb問題を解くこと（70分）。

- ・1~2、4~6、9~15回目の授業では、復習として、正解しなかったweb問題について、教科書、配布プリント等を利用してまとめておくこと。また教科書巻末の演習問題を解いておくこと（90分）。
- ・3回目の合同討議にあたっては、事前に具体的な資料をClassroomに掲載するので、個々で調べて授業に臨むこと（70分）。また、授業終了後にはClassroomに、すべての班のプロダクトを掲載するので、他の班のプロダクトを読んでおくこと（90分）。
- ・7~8回目の合同討議にあたっては、事前に具体的な資料を配付するので、個々で調べて授業に臨むこと（80分）。また、授業終了後にはClassroomに、すべての班のプロダクトを掲載するので、他の班のプロダクトと比較し、レポートを作成すること（120分）。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

A 基本事項

(1) 薬剤師の使命

【 医療人として】 【 患者安全と薬害の防止】

(2) 薬剤師に求められる倫理観

【 生命倫理】 【 医療倫理】 【 患者の権利】 【 研究倫理】

(3) 信頼関係の構築

【 コミュニケーション】 【 患者・生活者と薬剤師】

B 薬学と社会

(1) 人と社会に関わる薬剤師

F 薬学臨床

(1) 薬学臨床の基礎

【 臨床における心構え】

(2) 処方せんに基づく調剤

【 安全管理】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。

【実務経験】

中山 章（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での薬剤師としての実務経験を通じて得た知識・技能・態度等を活用し、実践的な教育を行う。